



平成30年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成29年12月12日

上場会社名 アセンテック株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3565 URL <https://www.ascentech.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 直浩
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 佐藤 正信 TEL 03(5296)9331
 四半期報告書提出予定日 平成29年12月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年1月期第3四半期の業績（平成29年2月1日～平成29年10月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年1月期第3四半期	3,025	23.6	225	△1.8	232	17.9	160	25.4
29年1月期第3四半期	2,447	—	229	—	197	—	127	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年1月期第3四半期	51.85	49.93
29年1月期第3四半期	45.94	—

(注) 1. 当社は、平成28年1月期第3四半期においては、四半期財務諸表を作成していないため、平成29年1月期第3四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。

2. 当社は、平成28年12月7日付で普通株式1株につき50株の割合、平成29年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っておりますが、平成29年1月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

3. 平成29年1月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	%
30年1月期第3四半期	1,611	1,146	1,146	671	71.1	52.7
29年1月期	1,274	671	671	—	—	—

(参考) 自己資本 30年1月期第3四半期 1,146百万円 29年1月期 671百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年1月期	—	0.00	—	0.00	0.00
30年1月期	—	0.00	—	—	—
30年1月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年1月期の業績予想（平成29年2月1日～平成30年1月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,800	16.0	230	△7.4	232	6.5	160	14.2	51.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年1月期3Q	3,275,200株	29年1月期	2,798,000株
② 期末自己株式数	30年1月期3Q	－株	29年1月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年1月期3Q	3,085,380株	29年1月期3Q	2,777,796株

(注) 当社は、平成29年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。当社は将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。業績予測の前提となる条件及び業績予測のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第3四半期累計期間	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(追加情報)	5
(セグメント情報等)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、全体的に緩やかな回復基調で推移していますが、海外における不安定な政治動向や地政学的リスクなどの影響が懸念されるなど、先行き不透明な状況は続いております。

当社の属するIT業界においても、企業の積極的なIT投資を背景に概ね良好な事業環境が継続したものの、先行きにつきましては、その影響が懸念される状況となっております。当社の主力事業であるITインフラ分野は、サイバー攻撃がますます巧妙かつ複雑化し、国家、企業にとって重大な経営リスクとして認知され、投資が拡大傾向にあります。

このような事業環境のもと、新たにクラウド連携アーカイブソリューションなどの取扱を開始したことで、ストレージ製品のラインナップが充実し、仮想インフラ及びストレージ事業の製品提案力の強化につながりました。

また、GPU（グラフィックス・プロセッシング・ユニット）ソリューションのパートナーとなったことで、仮想環境でのCADなどの高度なアプリケーションをより快適に利用できるソリューションが提案可能となり、新たな顧客の開拓に取り組みました。

また、既存のWindowsPCを容易にシンクライアント化できる新しい自社製品「Resalio Lynx 700」の開発もを行い、販売を開始しました。

当第3四半期累計期間の売上高においては、政府による働き方改革の推進により、テレワーク導入案件は引き続き拡大の一途となっており、それに伴い、そのキーテクノロジーである仮想デスクトップ需要の高まりや、さらに既存の仮想デスクトップユーザの買替需要も加わり、仮想デスクトップビジネスの事業領域が堅調に推移しました。

なお、近年SSDの技術進化とコスト低減により、急速に世代交代が進み、フラッシュストレージを中心とした先進ストレージの高い需要が継続したことにより、仮想インフラ及びストレージの事業領域も堅調に推移しました。

利益面では、上記の売上高の増加に加え、仮想デスクトップを展開するうえでの当社のコンサルティングサービス等のプロフェッショナルサービスが増加し、業績に貢献しました。一方で当第3四半期会計期間においては、10月2日に本社移転を行ったことによる一時的な費用の発生などがありました。

これらの結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高3,025,111千円（前年同四半期比23.6%増）、営業利益225,083千円（前年同四半期比1.8%減）、経常利益232,552千円（前年同四半期比17.9%増）、四半期純利益160,003千円（前年同四半期比25.4%増）となりました。

なお、当社はITインフラ事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末の資産合計は、1,611,714千円と前事業年度末に比べて337,595千円の増加となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が198,130千円及び商品が100,789千円増加したためであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末の負債合計は、465,323千円と前事業年度末に比べて137,060千円の減少となりました。これは主に、買掛金が93,888千円及び未払法人税等が61,900千円減少したためであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産合計は、1,146,390千円と前事業年度末に比べて474,656千円の増加となりました。これは主に、資本金及び資本準備金がそれぞれ155,579千円増加、四半期純利益160,003千円の計上により利益剰余金が増加したためであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年1月期の業績予想（通期）につきましては、平成29年4月25日付けの「東京証券取引所マザーズへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」で公表しました業績予想から変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年1月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	602,634	549,461
受取手形及び売掛金	355,836	553,966
商品	146,677	247,467
仕掛品	8,624	8,942
その他	82,770	85,389
流動資産合計	1,196,544	1,445,228
固定資産		
有形固定資産	27,752	69,850
無形固定資産	7,996	6,090
投資その他の資産	41,825	90,545
固定資産合計	77,574	166,485
資産合計	1,274,118	1,611,714
負債の部		
流動負債		
買掛金	314,682	220,793
未払法人税等	89,010	27,110
資産除去債務	—	993
その他	158,624	179,989
流動負債合計	562,317	428,886
固定負債		
資産除去債務	4,151	—
その他	35,915	36,437
固定負債合計	40,067	36,437
負債合計	602,384	465,323
純資産の部		
株主資本		
資本金	71,205	226,785
資本剰余金	98,205	253,785
利益剰余金	503,624	663,628
株主資本合計	673,036	1,144,198
評価・換算差額等		
繰延ヘッジ損益	△1,517	2,039
評価・換算差額等合計	△1,517	2,039
新株予約権	215	152
純資産合計	671,734	1,146,390
負債純資産合計	1,274,118	1,611,714

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成28年2月1日 至平成28年10月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成29年2月1日 至平成29年10月31日)
売上高	2,447,530	3,025,111
売上原価	1,946,990	2,466,466
売上総利益	500,539	558,644
販売費及び一般管理費	271,405	333,561
営業利益	229,134	225,083
営業外収益		
受取利息	77	87
為替差益	—	11,663
助成金収入	2,500	1,800
保険解約返戻金	6,808	—
その他	137	665
営業外収益合計	9,523	14,216
営業外費用		
支払利息	14	—
為替差損	41,348	—
株式公開費用	—	3,157
株式交付費	—	3,589
その他	90	—
営業外費用合計	41,452	6,746
経常利益	197,204	232,552
税引前四半期純利益	197,204	232,552
法人税、住民税及び事業税	82,409	62,980
法人税等調整額	△12,841	9,567
法人税等合計	69,568	72,548
四半期純利益	127,636	160,003

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成29年4月25日付けで東京証券取引所マザーズに上場し、公募増資による払い込みを受け、新株式240,000株の発行を行い、資本金及び資本準備金がそれぞれ110,400千円増加しております。また、平成29年5月26日付けでオーバーアロットメントによる売出しに関連して、株式会社SBI証券から第三者割当増資の払込みを受け、新株式82,000株の発行を行い、資本金及び資本準備金がそれぞれ37,720千円増加しております。さらに、平成29年2月1日から平成29年10月31日の間にストックオプションの行使が行われ、新株式155,200株の発行を行い、資本金及び資本準備金がそれぞれ7,427千円増加しております。

これらの結果、当第3四半期会計期間末において資本金が226,785千円、資本準備金が213,785千円となっております。

平成29年9月1日付で普通株式1株につき、2株の割合で株式分割を行っております。「株式数」につきましては、当該株式分割後の株式数を記載しております。

(追加情報)

繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期会計期間から適用しております。

(セグメント情報等)

当社は、ITインフラ事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。